



横須賀市立大塚台小学校学校だより

大塚台の風



校長 山崎 亨

二刀流目指して・・・

先日、久々の朝集会で、現在メジャーリーグで大活躍している大谷翔平選手を取り上げ、子どもたちに話をしました。話の内容は以下のとおりです。

大谷選手がここまで大活躍できるまでには、アメリカに渡ってから3年もかかっています。途中でけがをしたり、手術をしたり、なかなか思い通りの活躍



をすることができませんでした。きっとこの3年の間、くじけそうになったときもあったと思いますが、あきらめずに、我慢をして、努力を続けてきたからこそ、今の活躍があるのだと思います。

また、大谷選手は、ある試合で自分の打ったボールを相手ピッチャーに当ててしまったことがありました。大谷選手はすぐにタッチされアウトになりますが、アウトになったことを悔しがるのではなく、相手ピッチャーは大丈夫だろうかと心配そうに思いやる場面がありました。その他にも、相手キャッチャーのマスクが落ちていると、土を払って渡してあげたり、相手バッターが使ったバットを拾ってあげたりと、大谷選手の相



手を思いやる優しい行動も注目されました。

この大谷選手の行動から学んでほしいことが2つ。1つめは、学校生活で「たいへんだな」「めんどくさいな」「やる気が出ないな」と思ったときにも、少し我慢をして、努力を続けてみること。2つめは、相手を思いやり優しい行動ができるかっこいい人になること。このような内容でした。

大谷選手は野球の技術面だけでなく、気持ちの面も子どもの頃から鍛え続けてきたんでしょうね。その気持ちが大人になっても残り、これまでの行動につながっているのかなと感じます。子どもたちには今後の学校生活で人として大切なことを継続し、大谷選手のように、二刀流を目指してほしいなと思いました。